

パシフィックコンサルタンツ株式会社

ADVERTISEMENT
広告

プロジェクト名 ワークライフバランス「888(トリプルエイト)」プロジェクト

実施予定期間 平成22年6月1日～平成25年3月31日

実施目的 売上を維持しながら、長時間労働を縮減し、
「仕事のための8時間、
自分と家族のための8時間、
健康のための8時間(=トリプルエイト)」の
メリハリの利いた生活、活力溢れる会社を実現する。



事務管理本部 労務・法務部 ワークライフバランス推進事務局・油谷 百百子さん

WLBの実現に向け業界をリード

抜本的に仕事のやり方を変える ワークライフバランスに挑戦

交通技術分野や国土保全分野をはじめ、あらゆる分野にわたって社会資本整備のコンサルティングを手がけるパシフィックコンサルタンツ。同社が昨年始めた「ワークライフバランス『888(トリプルエイト)』プロジェクト」は、今年、3年計画の2年目に突入した。

同社の顧客は官庁や地方自治体が大半を占めているため、業務の締め切りが年度末に集中しがちである。また、複数のプロジェクトに同時並行で携わり、打ち合わせや出張が多いといった業務特性から、どうしても長時間労働に陥りがちだった。これまでも様々な対策を講じてはいたが、抜本的に仕事のやり方を変える必要があった。そんな折、労使共催でワークライフバランス(WLB)のセミナーを開催することになり、「WLBとは、短時間でどれだけ成果を上げるかが問われ、時間で成果を確保するわけにはいかならないというシビアなものであることがわかり、その発想の切り替えを社内に浸透させたいと思いました。」と事務管理本部労務・法務部ワークライフバランス推進事務局の油谷氏は語る。そこでトップにWLBの推進を提言し、同プロジェクトが機関決定された。

グループプロジェクトで 組織単位の働き方を見直す

プロジェクトの中心施策の一つとして、「課」に相当する「グループ(現在は室)」単位で、働き方を見直しに取り組んでいる。4グループが、1年間、月1回のコンサルティングを受けながら、長時間労働に関する課題と解決策の実施に取り組んだ。1年目は、コンサルタントの解決策を期待する受身の意識があった。しかし、「自主性が大切」との反省から、2年目はグループ員自らが率先してグループ内の課題を見つけ、改善策を考え実施するよう、方向転換したところ、昨年よりも前向きな雰囲気が出てきたという。「今後は、成果を上げたグループをロールモデルとして、全社に広めていきたいと考えています。」

管理職の意識改革

社長もWLBの推進に熱心で、会議や研修など事あるごとにその重要性を発信するようになった。会議の活性化・効率化のために導入した、立って会議をする「スタンディング会議」も、社長の意見でまずは常務以上で構成される経営会議から率先して導入しているという。

しかし、管理職が「残業している部下こそ頑張っている。」という考えを持つ

ているようでは、部下も評価を気にして帰りづらくなる。そこで、管理職を対象に「長時間労働に関する研修」を行い、グループワークで長時間労働の解決のための具体的方策を考えた後に、労務問題が専門の弁護士から長時間労働のもたらす法的リスクと管理職の果たすべき役割についての講義を受けた。「かなり厳しい内容だったので、意識改革の契機になったのではないかと」と油谷氏は語る。

業界をリードする取組

パシフィックコンサルタンツは建設コンサルタント業界の最大手の一つ。その動向が他社に与える影響は大きい。同社は、業界団体内の意見交換会や、関連団体のイベント等で、積極的にプロジェクトについての情報を発信し、業界全体でWLBへの気運を高めている。また、今後発注者に対してもWLBの実現に向けた協力を働きかけられるよう、検討している。長時間労働縮減のために改めて働き方を見直し、真のWLBの実現に向けて、業界を率先して取り組み始めた同社に集まる期待は大きい。

企業概要

パシフィックコンサルタンツ株式会社
所在地：東京都多摩市関戸1-7-5
事業内容：建設コンサルタント業
URL：<http://www.pacific.co.jp/>